

臨床研究のお知らせです

研究課題名

体外循環中の酸素運搬量が生体に及ぼす影響について

研究期間

2017年1月～2031年3月まで

研究の目的・方法

開心術では術中の循環・呼吸維持のため人工心肺装置が用いられます。人工心肺中の血液は、人工肺で酸素化されており、高酸素分圧で管理されている状態です。そのため生体は過剰な高酸素の環境にさらされているため、炎症反応物質や活性酸素種が発生し様々な弊害を引き起こすことで様々な合併症が引き起こされることが知られています。今回研究に御協力頂いた対象者の方々の心臓手術期間中の血中のアンジオポエチン様ファミリーの濃度がどのように変化するかを検証いたします。{当初予定しておりましたELISA法（測定者が自ら試薬・検体を調整し測定結果を得るために大幅な時間がかかるというデメリットが生じています。）に加えて、全自動免疫測定装置 HISCL™(研究開始時にはなかった機器で短時間に測定できる方法が確立してきました。そのため実際の臨床現場においてアンジオポエチン様ファミリーを測定する意義を示すため)による測定も追加することとなりました。} 本研究から得られた成果は、心臓手術患者の合併症予防に役立てられます。

研究に利用する試料・情報

熊本赤十字病院で心臓手術を受けられた方の血液サンプル

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の名称：熊本赤十字病院

研究機関の長：平田 稔彦

研究責任者：岡留 由祐

研究に関する試料の入手・閲覧について

ご要望があれば、研究対象者様御本人あるいはご家族が読まれる場合に限り、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧ください。下記担当者までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。
2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。
3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. ・研究に関する個人情報は熊本赤十字病院で匿名化（個人が特定できないよう加工）された後、共同研究機関である熊本大学へ移送され、熊本大学内ではパスワード付きUSBメモリ内で管理されます。

・患者名、住所情報および対応表（患者氏名・年齢・病院IDおよび研究IDのみ記載し、その他個人を識別可能な情報は削除）は熊本赤十字病院が管理いたします。

利益相反について

熊本赤十字病院 臨床工学部には開示すべき利益相反はありませんが、本研究に用いられる費用は熊本大学大学院 分子遺伝学分野の研究費であるAMED・CREST、肥銀ギャップ資金制度の研究資金を用いて行われます。また、熊本大学の共同研究機関であるシスメックス株式会社および研究協力機関である株式会社免疫生物研究所から、機材等提供の協力を得て行われる予定です。なお、本研究は費用の出資者、機材等提供者とは無関係に公正に行われます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本赤十字病院 臨床工学部 岡留 由祐

－連絡先－ 熊本赤十字病院

〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1番1号

TEL.096-384-2111(代) FAX.096-384-3939